

第6回大田区交通政策基本計画推進協議会 議事要旨

日 時	平成30年3月2日(金) 10時00分～11時00分	
場 所	大田区消費者生活センター 2階大集会室	
出席者	外部委員	<p>23名中18名出席</p> <p>屋井委員(東京工業大学 副学長・教授)、清水委員(首都大学東京大学院 都市環境科学研究科教授)、浅野委員(東京商工会議所 大田支部会長)、田中委員(大田区観光協会会長)、塩ノ谷委員(東日本旅客鉄道株式会社東京支社 総務部企画調整課長)、小里委員(東京急行電鉄株式会社 鉄道事業本部 企画課長)、荒井委員(東京モノレール株式会社 建設計画部課長)、川瀬委員(東急バス株式会社 運輸事業部運輸課長)、鬼頭委員(京浜急行バス株式会社 経営企画部長(代理 藤森課長))、玉田委員(公益財団法人東京タクシーセンター 施設管理課長)、宮藤委員(国土交通省東京航空局 東京空港事務所総務部長)、三條委員(国土交通省関東地方整備局東京国道事務所交通対策課長(代理 星野氏))、生越委員(東京都交通局総合技術調整担当課長(代理 上村課長代理))、宮原委員(警視庁蒲田警察署交通課長(代理 松島氏))、中村委員(東京都京浜島工業団地協同組合連合会専務理事)、堀委員(株式会社スペース・クリエーション一級建築士事務所代表取締役)、伊佐治委員(大田区議会議員)、秋成委員(大田区議会議員)</p>
	大田区職員	<p>15名中13名出席</p> <p>黒澤委員(まちづくり推進部長)、山田委員(企画経営部企画課長)、中村委員(観光・国際都市部観光課長)、張間委員(福祉部福祉管理課長)、酒井委員(福祉部障害福祉課長)、浜口委員(こども家庭部子育て支援課長)、保下委員(まちづくり推進部都市計画課長)、浦瀬委員(まちづくり推進部空港臨海部調整担当課長)、大木委員(まちづくり推進部都市開発課長)、近江委員(まちづくり推進部都市開発課地域整備担当課長)、三本木委員(まちづくり推進部都市開発課副参事地域整備担当)、明立委員(都市基盤整備部都市基盤管理課長)、谷田川委員(都市基盤整備部都市基盤計画調整担当課長)</p>
	事務局	まちづくり推進部都市計画課
傍聴人	4名	

## 1. 開会

- ・新しい委員の紹介
- ・欠席の委員の説明
- ・開会の挨拶 【黒澤委員（まちづくり推進部）】
- ・資料確認 【事務局】

## 2. 議事

### 【屋井委員】

早速ですが、お手元の議事次第1)と2)、前回の協議会以降に取り組んできた事柄について続けてご説明いただいてから審議ということにしたいと思います。よろしくお願いします。

#### 1) 第5回推進協議会、第6回推進有識者会の議事概要

- ・資料説明（資料1 第5回推進協議会、第6回推進有識者会の議事概要）【事務局】

#### 2) 区民説明会、パブリックコメントの結果概要について

- ・資料説明（資料2-1 大田区交通政策基本計画（素案） 区民説明会の開催報告）【事務局】
- ・資料説明（資料2-2 大田区交通政策基本計画（素案） パブリックコメント ご意見一覧）【事務局】
- ・資料説明（資料2-3 大田区交通政策基本計画（素案） パネル展 ご意見一覧）【事務局】
- ・資料説明（資料2-4 大田区交通政策基本計画（素案） パネル展 当日の写真）【事務局】

### 【屋井委員】

まず資料1、前回の協議会、有識者会の議事概要についてご意見やご質問があればお受けしたいと思います。何かありますでしょうか。よろしいでしょうか。また後でいただいても結構ですので、ご確認いただければと思います。

それでは資料2-1から資料2-4についていかがでしょうか。ご質問やご意見はございますでしょうか。

急に私からもお願いして区民説明会などを企画していただいた関係もあって、十分に周知できなかったこともあり参加された方も少ないですが、もともとこういう基本計画のようなものは、はっきりと場所と事業が特定されているものが少ないので、一般的には関心を持たれないケースが多いですから、今回もそういう意味では「わざわざ出かけてみようか」とはならなかったということかもしれません。

取り組みとしては、こういう場合には計画を作っている側の立場から、少しでも区民の方々や関係者の方々に取り組みの中身や取り組み自体をお伝えしようという姿勢を持つことが大切なので、そういうことをいろんなかたちでやっていただいたということです。

アンケートを行うなど、いろいろかたちで今までの2年間の中でお伝えはしてきたので、それなりの周知等はあるかもしれません。これから取り組み自体は始まりますから、そういう中でもぜひお伝えしていかなければいけないかもしれません。

よろしいでしょうか。また後で、関連してご意見があればお願いします。

#### 3) 大田区交通政策基本計画（案）について

- ・資料説明（資料3-1 大田区交通政策基本計画（案））【事務局】

・資料説明（資料 3-2 大田区交通政策基本計画（案）概要版）【事務局】

【屋井委員】

それでは資料 3-1 と 3-2 について、委員のみなさまからのご意見あるいはご質問をお受けしたいと思います。

資料 3-1 は従前からご覧いただいている計画の案で、今後「案」が取れてくることとなります。

資料 3-2 の概要版については、印刷・公表するスケジュール感はどんな感じでしたでしょうか？まだ内容について大いにご意見をいただいて変更が可能なのか、あるいはすぐに印刷したいからできるだけそれを前提にということなのか。

【事務局】

すぐに印刷ということではなく、今日のお話を踏まえて多少時間をおいて印刷をかけたいと思います。

【屋井委員】

資料 3-2 についてはそういうことをご理解をいただきたいと思います。いかがでしょうか。

【中村委員（京浜島工業団地組合）】

これだけボリュームがあるものを、特に臨海部の方に関してはぜひぶんお話をさせていただいたものを反映させていただきました。本当にありがとうございました。

あまり本筋とは関係ないのですが、9 ページの大田区の工業動向の「事業所数」ですが、これは工場の数ですか？産経部が平成 26 年度での事業数として調査した数字で「3481 件」という数字がありますが、「1413 件」と「3481 件」との違いは何か教えていただけますか。

【事務局】

どこのデータから引っ張ってきているか確認させていただきたいと思います。

【中村委員（京浜島工業団地組合）】

もうひとつよろしいですか。2 月 27 日に大田区の方から、コミュニティサイクルが広域連携に 4 月 1 日から加入するというニュースが出ておりました。

たとえば 56 ページ「自転車等利用環境の充実」などに、「コミュニティサイクルの拡充」とあります。拡充するには、ポートと言いましてコミュニティサイクルを置く場所の開拓が必要です。

まちなかも苦勞されていると伺っておりますが、臨海部に関しても置く場所にはかなり苦勞されていると事業者の方から聞きました。

臨海部は、東京都港湾局の海上公園課が管理している海上公園がすごく多いです。ところが法律的な関係で置けないそうです。公園に置けなかったら、本当に置く場所がありません。

都の方に対して今までのアプローチと、今後どのように考えているのかをお聞かせいただければと思います。

【谷田川委員（計画調整担当）】

都市基盤の計画調整担当課長の谷田川でございます。コミュニティサイクルを担当しています。

いま中村委員からご質問があったことですが、2月27日のプレスリリースですが、都心7区とともに品川区と大田区が合同して4月1日付で広域連携を開始します。臨海部につきましても、いろいろと敷地や東京都が管理する公園など、様々な設置の可能性がある場所は当然私どもの方も認識しております。

一方、コミュニティサイクルの方も様々な課題があり、基本的には500m間隔に1箇所置けば、非常に乗ってくださる方々も多いと言われていています。しかし、コミュニティサイクルのポートを設置する場所も、探すのに非常に苦労している状況です。

臨海部とどこかを結ぶというような計画も含めて今後も考えなければいけないのですが、今のところ、区全体にまんべんなく置くという方針のもと進めているところもありますので、その辺の状況も見極めながら、今後も引き続き考えていきたいと思えます。

#### 【浦瀬委員（空港臨海部調整担当）】

空港臨海部調整担当課長の浦瀬と言います。先ほど中村委員からご指摘がありました、海上公園にコミュニティサイクルポートを置けないということについて答えます。

委員の言うとおりの、海上公園は東京都港湾局が管理しております。東京都港湾局が昨年5月の「海上公園ビジョン」の中で、海上公園を民間活力も導入して新たに再整備をしていくという方針を打ち出しました。コミュニティサイクルポートについては、「大田区だけでなく他の区からも要望があることから前向きに検討していく」ということを港湾局の方から聞いております。

#### 【事務局】

56ページのコミュニティサイクルの拡充の部分で、「相互乗り入れの実証実験への参加を目指す」と記載してございますが、2月27日のプレスリリースを踏まえて書き方について調整いたします。

#### 【屋井委員】

はい、よろしくお願いいたします。はい、それではほかいかがでしょうか。

#### 【田中委員（観光協会）】

もうこの時点で付け加えることはないのですが、今後のことについて意見を言わせていただきたいと思えます。

大田区内のものと広域のことを両方扱っていますが、どうしても広域のことについての書き込みはできないし、今後どうなるのかわからない部分はあると思えます。しかし、例えば14ページに空港の強化、港湾の強化と載っていますが、実際に何なのか、この時点で書く必要はないと思えますが大田区としてもつかんでおく必要があると思えます。例えば空港は、乗降客が増えるとか24時間向けにすることなのか。港湾の強化は、出し入れをしやすくするのか、もっと受け入れようとしているのか。

それから、臨海部の新交通システムという表現がありますが、これはどういうイメージなのでしょう。大量交通なのか、もう少しそうではないイメージなのか。既存の東西交通のネットワークとどうつながってくるのかということもあると思えます。

前者は私の意見、後者はちょっと聞いたかったことです。

#### 【事務局】

はじめに田中委員から話がありました、今後どのように実施するかというところは、114ページのリーディングプロジェクトの概略の、都市の活力の「“空港臨海部”を次世代交通で支えます」の方向性として書かせていただいております。この中で、今後どういう形でやっていくのかというのを検討していきたいと思っております。

アクセス交通の話でございますが、83ページの「活3.2.2 公共交通の機能向上」で、「大森・平和島地区から昭和島、東海、京浜島、城南島などの埋立島部へのアクセスを強化する公共交通の導入と検討と充実を図る。また羽田空港への公共交通のアクセスの充実について検討する」と書かせていただいております。

また86ページの「東京港へのアクセスの強化」といたしまして、背景と方向性のところに、「トラックや船舶や鉄道へのモーダルシフトの促進、東京港へのアクセス交通の充実」と書いてございます。

今後こういったところで施策の実現に向けた検討をしていきたいと考えてございます。

**【田中委員（観光協会）】**

新たな手段というのは何か？

**【屋井委員】**

114ページのリーディングプロジェクトの5番の最初のところですね。「区部中心部と臨海部を結ぶ新たな交通手段の導入の可能性を検討します」。

**【事務局】**

新たな交通手段は、様々な方法を含めて検討しなければいけないと思っています。

例えばBRTなど、いろんな手段があると思います。どういったものが良いのかという可能性について検討したいと思っております。

**【屋井委員】**

はい、どうもありがとうございました。ほかはいかがでしょうか？特にご意見が無いようでしたら、今後どう進めていくかということにもう関心が移ってくるわけですからそちらのご発言でもよいですが。

この基本計画の案については、概ねこの内容でよいと判断してよろしいですか？

一部、先ほどのコミュニティサイクルのようにさらに進んだことについては若干の記載事項について変更があるということですが、それ以外についてよろしいでしょうか。はい、どうもありがとうございます。

それから、3-2についてご意見が出ていません。これは概要版ということですが、おそらく本文を全部つぶさに読まれる方はそんなにいないわけですから、これをパラパラとめくって「なるほど、こんなものができたんだね」という印象を持っていただくこととなります。あまり細かなことは書かれていませんけれども、これについてもよろしいですか？

引き続き事務局の方でさらに改善すべきことは自主的に改善されて印刷されるということになると思います。何かご意見があればお伺いいたします。

#### 【事務局】

概要版につきましては、ご覧いただいて後で気づくところもあるかと思しますので、この協議会終了後、お気づきのところがあれば事務局まで連絡をいただければと思います。日にちですと、3月9日金曜日までにご意見をいただければと思います。

#### 【屋井委員】

それでは3月9日金曜日までにご意見をいただくということでよろしく申し上げます。

これで3)の議題についても終わらせていただきます。次は4)の来年度のスケジュールについて、よろしく申し上げます。

#### 4) 来年度のスケジュール

・資料説明(資料4 リーディングプロジェクトのスケジュール(案))【事務局】

#### 【屋井委員】

この中には書かれてはいないかもしれませんが、先ほどの本文にあったように、PDCAを回していくので、途中でこの協議会の役割もまた出てくるという理解をしていただきたいと思います。

計画は、特にこういう基本計画はつくったことが終わりではなく始まりなわけですから。この計画ができた後に、それぞれの施策が新たに進展していくということになりますので、そこも見届けていただくという役割があります。そういうご理解もいただきたいと思います。

来年度については、優先順位をつけながら全体が進みます。ある意味で一定程度ルーチンとして毎年やっていかなければいけないというものでも進みますが、それ以上に優先的にリーディングとして進める事柄が7つ挙がっていますから、その中でさらにメリハリをつけながら注力していくものをまずは選定します。良いことだと思います。

よろしいでしょうか。ではこのような形で進めてまいりたいと思いますので、引き続きよろしく申し上げます。

それでは、これで議題の方、4)まで終了ということになります。よろしいでしょうか。

では、閉会の方に移らせていただきますので、どうぞよろしく申し上げます。

### 3. 閉会

#### 【黒澤委員(まちづくり推進部)】

屋井先生からもお話があるように、概要版を区民の皆さんにいかに分かりやすくかつアピールしやすい内容にするのかは大変重要だと思っております。ぜひお気づきの点、概要版の特に内容についてのお気づきの点を最後ご協力いただければありがたいと思います。

2年間にわたりまして本当に協議会におけるご審議を賜りましたことを改めてお礼申し上げまして、第6回の本協議会を終了とさせていただきます。

誠にありがとうございました。

それでは閉会させていただきます。本当に2年間ご多忙の中ありがとうございました。

以上